

意見交換会のテーマ

運営体制と各団体との関係・役割について



内容

- 部活動地域展開に向けた指導者実態調査の結果
- 部活動地域展開【指導部会】進捗状況について
- 運営体制イメージと各団体との関係・役割について

指導者アンケートの結果について

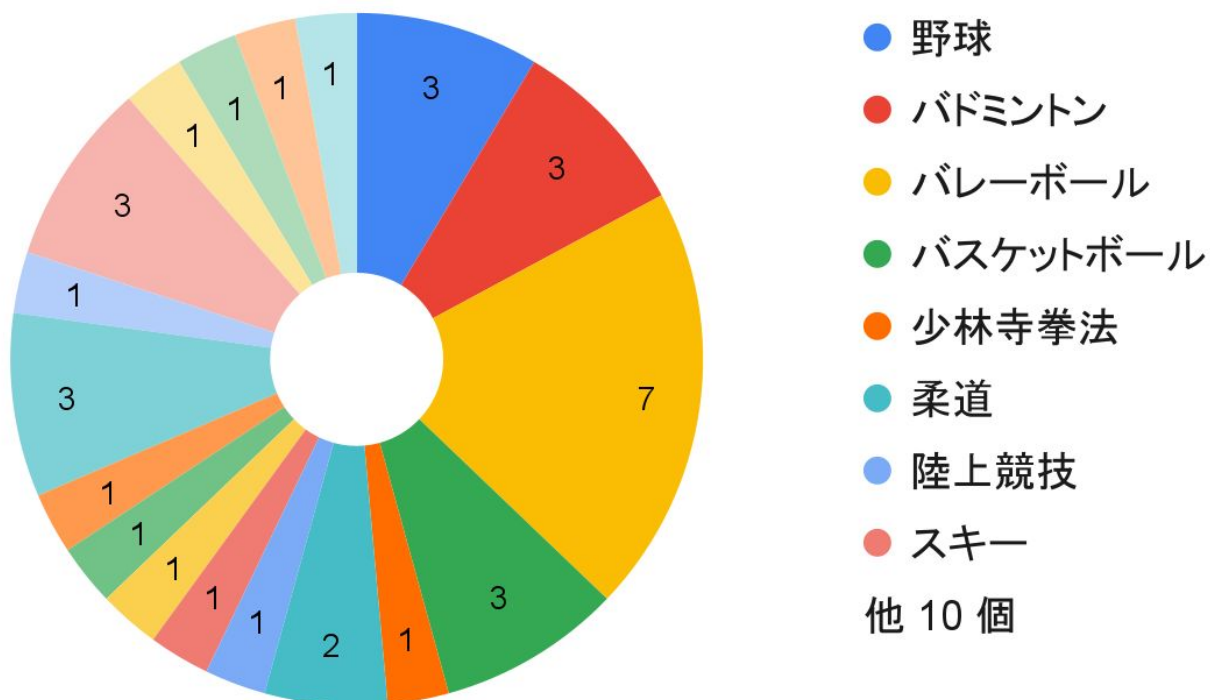


アンケートの目的

- ❖ 部活動の地域展開を進める中で、指導者の充足状況について把握し、今後の指導者確保に向けた取組の参考にするもの。
- ❖ スポーツ協会26団体を通じて各クラブチーム等へアンケートを実施。

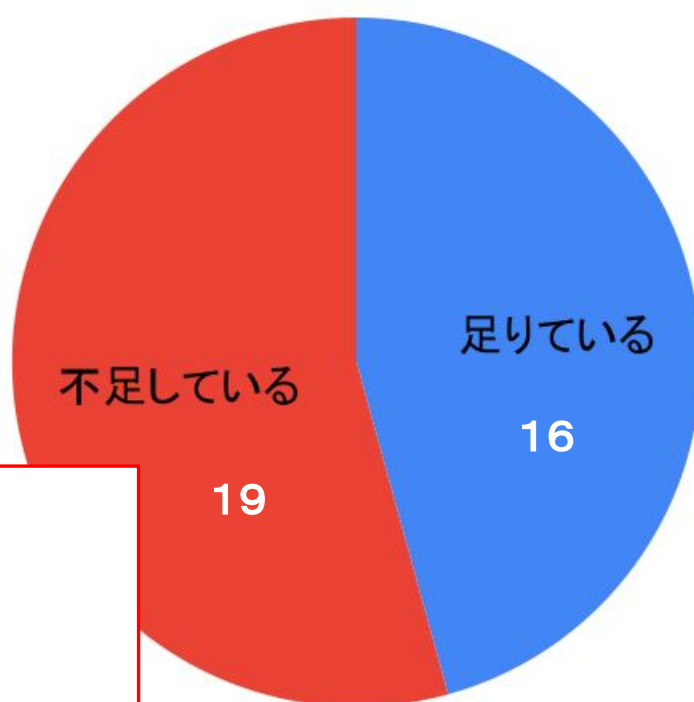
回答内訳(競技団体)

回答数: 35団体



指導者の充足状況について

【単位: 団体】



不足している人数

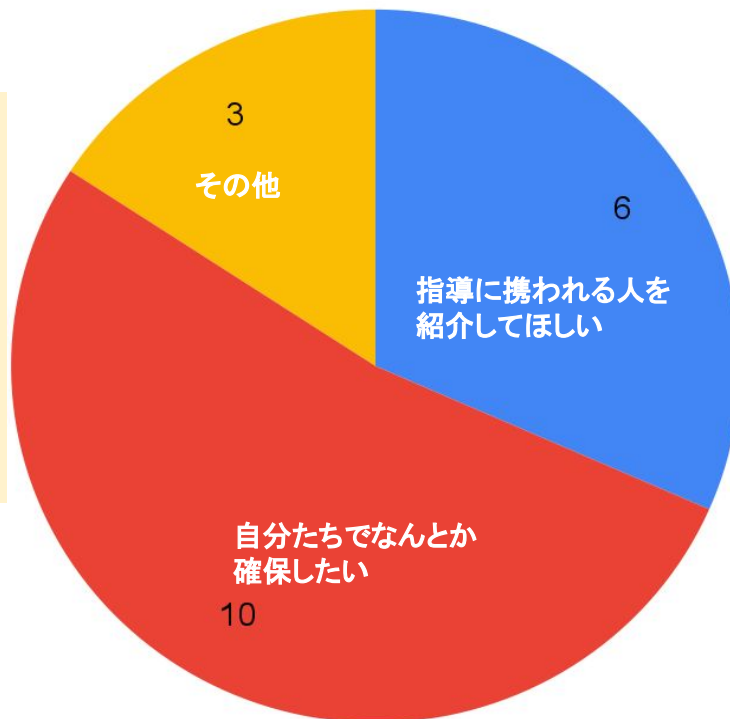
・1～3人(15団体)

・5～10人(4団体)

【不足と答えた人(19団体)】指導者の確保について

【その他】

- スキルや個々に応じた対応ができる指導者の確保を目指したい
- 誰でもいい訳ではなく、クラブの指導法を理解して同じ方向性でサポートしてくれる方がいたらお願いしたい
- 「スキー教室」で不特定多数を指導する場合、有資格者が必要であることが厳格化。



【紹介してほしい団体】

- バレーボール(2団体)
- 野球(1団体)
- バドミントン(1団体)
- ダンス(1団体)
- ローイング(1団体)

指導者の内訳(職業別)

その他(保育士・看

3.8%

無職

5.3%

海上自衛隊

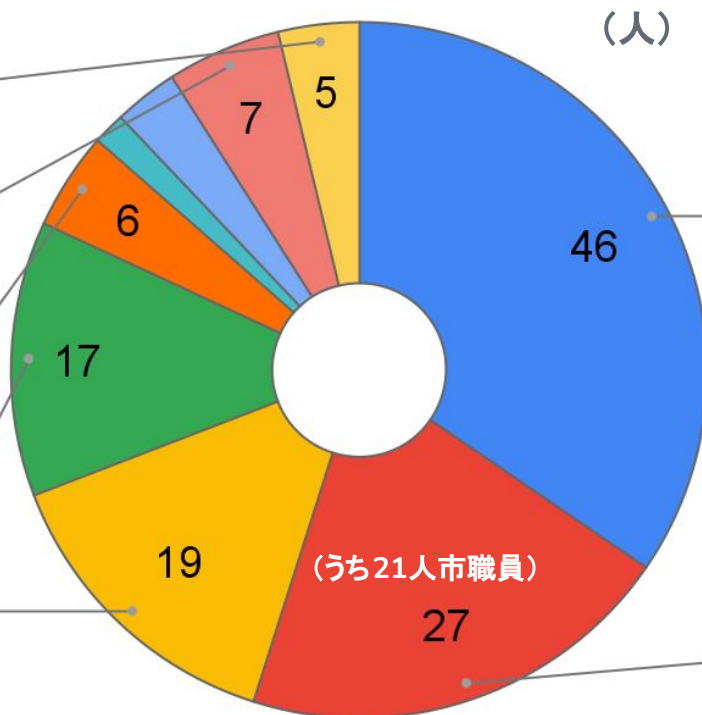
4.5%

教員(元教員含む)

12.8%

個人事業主

14.3%



会社員

34.6%

公務員

20.3%

指導者の内訳(年代別)



まとめ

指導者は不足しているが、
指導方針や目指す方向性が合う人を指導者として迎えたい

⇒ **なんとか自分たちで指導者を確保したい**

- ❖ 新たに指導者となる人材を確保しても、繋がりが無い既存のクラブチームへ参入することは難しい。ただし、紹介してほしい団体へは人材を供給できる仕組みづくりは必要
- ❖ 新たな指導者を確保・登録する人材バンクを検討

指導者の数は多いが、平日・休日の指導を維持することは難しい

練習場所が確保できる時間帯と、指導者の予定を調整することが大変

指導者を増やしても、練習・試合への参加の分担や調整がうまくできないとマイナス要因になる

土曜日が休みでない指導者もいて、休日の指導が指導者確保に大きな障壁である

子どもたちが目標とする大会等のレベルに応じた環境をつくる必要がある

中学校体育連盟や市教委の方針の明確さや指導者・コーディネーター確保の取組が早急に必要

家庭環境も様々であり、月謝の値上げはしたくないが、クラブ運営が苦しい状況である

講師を育成することもできる。
興味がある人を紹介してほしい

中学生の受け皿となるクラブチームが少なくて非常に不安である

部活動地域展開【指導部会】進捗状況について



スポーツ振興課
文化振興課
教育未来課

指導者部会の主な意見

今後の取組

指導者の高齢化

- ▼体力の問題
- ▼子ども達への伝え方（SNS等）
- ▼指導者はいるが「やりたい子」がいない
- ▼リタイア世代が多く継続性に問題
- ▼育った子が指導者になる好循環に期待



新たな人材確保

- ・自衛隊
- ・公務員
- ・市内企業

指導者の負担 （人数・両立）

- ▼継続するために負担を軽減
- ▼平日・休日すべてを担うことは難しい
- ▼指導者が複数いれば交代制も見込める



指導者の質 （スキル・資格）

- ▼資格がなくても指導できるが有資格者は安心
- ▼資格取得はお金だけでなく時間の確保が大変
- ▼スキル（質）を求めすぎると確保が難しい
- ▼指導者の経験レベル、質の差は大きい



資格取得支援 研修PG案内

資格取得支援・研修プログラム（案）

指導者向け研修プログラム （全4回）

- ・指導者の役割を理解
- ・安全な指導法
- ・地域との連携方法
- ・子どもたちの成長を促す実践的なスキル

【検討課題】

- ・必須にするか？
- ・対象は全員？
- ・全PG受講必須？等

部活動地域展開の 意義と指導者の役割 （スポーツ・文化活動の現状と課題）

指導技術と実践 （コーチングの基礎） （発達段階に応じた指導法）

安全管理と リスクマネジメント （熱中症対策、ケガの予防・応急措置）

指導者の メンタルヘルス （指導者のストレスマネジメント） （ハラスメント防止）

指導者部会の主な意見

今後の取組

子どもの意欲向上

▼モチベーション維持のため発表の場 必要▼
個々の楽しい基準(目標)が違う
▼小学生までの経験で中学生でレベルの差が生じる

大会や発表
機会の創出

取りまとめ体制

▼人材の確保や全体取りまとめを行う「総合型
地域スポーツクラブ」があるとよい

民間 or 市

団体の考え方

▼同じ競技であってもクラブや指導者によって指導
内容が大きく異なる
▼「競技力強化」か「ゆるく楽しく」か。
強化第一は受け皿になりにくい
▼習い事と地域クラブの線引はどうするか

地域クラブの
定義づけ

運営体制のイメージ(案)

舞鶴市【主】

業務委託
(一部or全部)

総合型地域スポーツクラブ【民間】

- ・各地域クラブ活動団体との連絡調整
- ・保険加入(指導者・参加者)、ケガ対応
- ・指導者研修
- ・指導者謝金支払い
- ・参加申込受付
- ・地域クラブ活動の周知、参加者募集
- ・会費の徴収 など

【市認定】地域クラブ

連盟等が実施してきた
合同練習を地域クラブ化
(柔道・剣道)

既存のクラブチームが
実施する活動

**総合型地域スポーツクラブが
新たに実施する 地域クラブ 活動**

●●クラブ
【新規立ち上げ】

●●クラブ
【新規立ち上げ】

●●クラブ
【新規立ち上げ】

習い事【自立】

競技力志向
クラブチーム
(各競技)

一般的な習い事
(民間ベース)